

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	青葉みらいづくり大学校 2024		
事業の実施者	団体等	NPO 法人 まちラボ	
	行政	青葉区地域振興課地域力推進担当	
事業の目的	自治会町内会をはじめとする地域活動の活性化		
事業の内容	受講生が互いに交流しながら地域活動の課題を認識し、グループワークや事例研究を通して地域に必要なだと考える事業プラン（マイプラン）を企画し、実施に向けてスタートを切る		
役割及び責任分担等	事業項目	甲の役割	乙の役割
	1、企画及び関係機関連絡調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座企画</li> <li>関係機関調整補助</li> <li>講座資料作成</li> <li>事例発表者、外部講師などの連絡調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座企画補助</li> <li>関係機関調整</li> <li>事例発表者、外部講師等の連絡調整補助</li> </ul>
	2、受講者募集及び受講者への連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集案内の作成</li> <li>受講者への連絡補助</li> <li>受講者への出欠管理補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集案内の作成補助</li> <li>受講者への連絡とりまとめ</li> <li>受講者の出欠管理（メール連絡）</li> </ul>
	3、講座当日運営及び備品等の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営管理（講座・事例紹介支援）</li> <li>受講者配布用備品準備</li> <li>会場設営補助</li> <li>講座内容記録</li> <li>受講生へのフォローアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営補助</li> <li>会場確保、会場設営、会場備品準備</li> <li>資料印刷</li> <li>講座写真撮影</li> <li>受講生へのフォローアップ補助</li> </ul>
	4、広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座通信の作成・印刷</li> <li>SNS による広報</li> <li>その他の広報補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座通信の作成補助</li> <li>区 Web ページ及びタウンニュース等の広報</li> </ul>
	5、相談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画運営</li> <li>プラン作成のサポート</li> <li>実施記録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画運営補助</li> </ul>
	6、事業振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施</li> </ul>
実施期間	令和6年5月から令和7年3月		

記入日	令和 7 年 3 月 17 日
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体等名： NPO法人まちラボ</li> <li>・記入責任者 氏名： 大越 雅美 連絡先： <a href="mailto:info@machi-lab.net">info@machi-lab.net</a></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部署名： 青葉区地域振興課</li> <li>・記入責任者 氏名： 松本 美穂 連絡先： <a href="mailto:ao-chiikiriyoku@city.yokohama.lg.jp">ao-chiikiriyoku@city.yokohama.lg.jp</a></li> </ul>

# 1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

## ◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

### ①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合って決めることができましたか。	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合って役割分担を決めることができましたか。	A	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合ってよく理解することができましたか。	A	A
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	A

### ②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	A
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	A

### ③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合って共有できたか。	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合って確認することができたか。	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	B	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

### 3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

<b>事業の計画づくり</b> (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・講座の趣旨を相互に理解したうえで、スムーズに講座を組立てることができた。</li><li>・受講対象者の拡大や、講座プログラム時期を年内に完結させる等の工夫を行うことで、若い世代の担い手の育成ができた。</li><li>・昨年度までの講座プログラムの良い面は踏襲しつつ、ブラッシュアップできた。</li><li>・講座1回あたりの時間を3時間にすることで、受講生の満足度が上がった。</li></ul>
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域大の狙いである「担い手の確保・育成」の要素のうち、「確保」の部分で、受講要件を緩和する等できると良い。</li><li>・講座で使用する配布資料やスライド投影資料の最終確認の漏れがたまにあったため、毎回余裕をもって確認できると良かった。</li></ul>
<b>事業実施</b> (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・区内外の先行事例を紹介し、受講生が取り入れやすい活動のアイデアを提供できた。</li><li>・地域内の施設や活動団体と協力することで、受講生がよりつながりづくりをしやすくなるような環境を整えることができた。</li><li>・資料や報告書の作成では、作成に取りかかる前に大まかな方向性を共有できたため、スムーズに資料を作成することができた。</li><li>・事業プラン（マイプラン）の発表については、連合会長、地域ケアプラザ職員等多くの方に伝えることができ、受講後のプランの実現も早期に着手できている。</li></ul>
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・講座の記録を「録音+テキスト化」することで、効率的に適正な記録をとれるようにする。</li></ul>
<b>事業の成果</b> (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
<ul style="list-style-type: none"><li>・講座のコンセプトをより深く受講生に理解された。</li><li>・受講生同士のネットワーク作りが大変うまくいった。</li><li>・受講生同士が相互の事業・イベントに行くなどの学びあい、つながりもできた。</li><li>・受講生が講座で作成したマイプランの実現率がかなり高かった。</li><li>・受講生一人一人に寄り添った伴走支援を行い、実現可能なマイプランの作成・実施につなげることができた。</li><li>・同窓会（進捗報告会）では、受講年度を超えて受講生の活動や工夫、悩みを共有することができ、講座終了後もつながりづくりを実現できている。</li></ul>

自由記入欄

--